

## 東トルキスタン・ウイグル人居住区の現状

<今世紀最大の被爆国といわれるウイグル・核実験と核廃棄物の投棄により、多くの人々が放射能中毒で犠牲になっている>

<1千万人が圧政・弾圧に苦しんでいる>

<ウイグル人の故地は植民地にされた・この五十年間で漢人が20倍に増加>

### 民族同化政策 <ウイグル文化の破壊>

中華人民共和国の憲法では宗教の自由が謳われているにも関わらず、東トルキスタンの人々の文化が破壊されている。

- ・モスクへの参拝は自由に行なうことができず、共産党員・公務員・学生・18歳以下の者は禁止されている。
- ・ウイグル語は自治区の公用語とされているのにも関わらず、小学校から漢語による教育が行なわれている。
- ・2006年から始まった未婚女性の内地へ強制労働移住が行なわれている。五カ年計画で40万人を送る予定。西部大開発という名目により自然風土が破壊され漢人が大量に移入している。
- ・ウイグル人の故地の天然資源を奪っている。油田開発し、パイプラインにより中国沿岸地域へ輸送している。
- ・漢人が大量に移入している。新疆ウイグル自治区を支配している江沢民派の王楽泉は、内地より漢人の労働者を大量に移入し、ウイグル人労働者を使わない。移入してきた漢人はそのまま新疆ウイグル自治区に定住。）

### オリンピック前のウイグル

#### 今年に入ってから起きた弾圧の事例の中で主要なものをあげる。

- 2008年2月4日（中国当局の発表では1月27日）ウルムチ住宅街で、「独立派勢力」の拠点を襲撃。18人殺害。
- 3月3日 ホータンの玉商人ムタリブ・ハジムが拷問され遺体になって家族の元に戻ってきた。
- 3月23日 - 24日 ホータン市で女性による1000人規模のデモが行なわれたが、当局によって鎮圧され600人が拘束。
- 3月23日 ホータン県カラカシ郡で500人規模のデモ。10人怪我、27人拘束（3人の中学生含む）。
- 3月28日 グルジャ近くのイェンギエル村で家宅搜索、十数人逮捕。アルムチヤル集落で「違法なマシュラップ（地域の集まり）を行なった」ということで25人逮捕。
- 4月3日当局発表 カシュガル地区でウイグル人70人逮捕、聖火リレーの妨害の恐れがあるとの理由。
- 5月5日 RFAの取材により、北京のホテルで、少数民族の宿泊者の通報を義務付けていることを関係者が明らかにした。
- 5月 ケリピン県の200人の青年男女が逮捕。
- 6月17日 - 19日 聖火リレーが東トルキスタンに入る。一般の見物客は完全にシャットアウトされ、リレーが走る沿道に面した窓を開けることも禁止。
- 6月13日 メッカ巡礼団を組織したウイグル人商人に7年の実刑判決。
- 6月23日 北京オリンピックを支持しないという理由で、アクス地区ケリピン県のモスクを破壊、コーラン没収。関係者は拷問を受ける。300人以上が逮捕された。
- 7月5日から7日にかけて、グルジャ市を中心に大規模な取締りが行なわれた。拘束者は100人を越えるとみられる。
- 7月8日にウルムチ市の一軒の住宅で行なわれたイスラム教の勉強会を当局の強引な捜査が入る。勉強会参加者の1人がナイフで抵抗したという理由で、当局が銃撃を行い5名が死亡し、2名が負傷、残り8名が逮捕された。
- 7月9日はカシュガル地区（イェンギサル）において、強制的に住民を1万人集め公開裁判が行われた。裁判結果は、20名の内15名が懲役10年ないし終身刑の量刑を受け、内3名に死刑を科し（執行猶予）、2名は即日銃殺された。

このような弾圧の結果、ついにウイグル人の怒りが爆発し、8月4日にカシュガル市で2人のウイグル人が武装警察を襲撃し、16人が死亡し、16人が負傷した。しかし中国当局はこのウイグル人がテロリストグループ「東トルキスタンイスラム党」によるものと発表した。翌日、現地に入った日本人記者2名が当局に拘束され暴力行為を受けた。日本人に対してこれだけ横暴であるのだから、現地の人々の待遇がどのようなものであるか想像できるであろう。

**中国共産党の悪政が次々に現れてくる現況は、オリンピック開催後、「サムシンググレート」眼に見えざる大きな力が、変化を我々に見せてくれるであろう。**



世界ウイグル会議傘下「日本ウイグル協会」会長 イリハム・マハムティ  
「日本ウイグル協会」専務理事 セイット・トムトルコ

任意団体・イリハム応援団 TEL 03-3815-7815 FAX 03-3815-7816 代表幹事 白石 念舟  
世界ウイグル会議のHP <http://www.uyghurcongress.org/>

# 人間を悪くする中国共産党

## <中国共産党は自浄作用が働かず自己改革が出来ない>



シルクロード上のハミの出身者・イリハム・マハムティ氏は、今年3月ウイグル人が滅亡に瀕している現状を変革しようと、命を懸けて立ち上がりました。そして、世界ウイグル会議傘下団体「日本ウイグル協会」の会長に任命され、彼を支える日本人の団体「イリハム応援団」も立ち上がったのです。

イリハム氏の至誠は天に通じるものであり、ウイグル人の希望の星といえます。日本在住のチベット人や南モンゴル人にも同様の人が多くいます。漢人の中にも中国民主化を目指すグループが存在しています。日本人は嘗て、欧米のアジア植民地化戦略に危機を抱き、いち早く国力を充実させて戦い、また独立を目指すアジアの活動家を援助した実績をも持っています。

今日、日本が異議を唱え糾弾すべきは、アジアに覇を唱えようとする中国共産党<中華帝国主義>であります。はからずも聖火リレーによって、中国共産党の実体が世界の人に認識されるようになりました。21世紀、世界の人々が望むことは、覇権主義でなく民主主義や民族自決です。大切にすべきは、それぞれが何千年もかけて育てた、民族固有の文化であり、自然風土なのです。

日本人は義に厚く人情を重んずる民族です。国学に因って人心を定め、漢学に因って道義を培ってきました。ここで今こそ、日本の美風を吹かせようではありませんか。右・左の議論のような西洋の考え方に縛られず、日本人として何が出来るか福沢諭吉の「敢為の精神」を持ってウイグル問題解決のために協力しようではありませんか。

平成20年7月24日

任意団体・イリハム応援団代表幹事 白石 念舟

文京区白山1-16-6-102

TEL: 03-3815-7815 FAX: 03-3815-7816

Mail: kessokyo@nifty.com

Web: <http://uyghurhotline.com>



### ご案内 「ウイグル勉強会」

主催者: 「日本ウイグル協会」支援団体・イリハム応援団

日時: 8月23日(土) 1時から受付 1時半開会~4時まで

場所: 文京区シビックセンター区民会議室4階シルバーセンターホール(定員105人)

講演者: ウイグルの現況<中国共産党統治の実態> イリハム・マハムティ

20世紀初頭のウイグル地域調査<大谷探検隊と日野勉> 白石念舟(元日本シルクロード倶楽部専務理事)

会費: 1000円